profest

取り扱い説明書

profest
RotopaX サイドマウントキット
CT125・ハンターカブ　20

はじめに

品番　ＰＦＲＸ１０６０

- この度は弊社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。弊社の「取扱い説明書」には、お客様ご本人や他の人々への危害や財産の損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご利用頂く為に、守って頂きたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっております。内容をご理解いただき、本文をお読み下さい。
- この取扱い説明書はいつでも取り出してご確認できるよう、大切に保管して下さい。
- 本製品をお客様ご本人から第三者へ譲渡する場合は、本書も一緒にお渡しください。
- お客様ご本人または第三者が、本製品及び付属品の誤った使用や、その使用中に生じた事故、その他の不具合によって受けられた損害について、弊社は一切の責任を負いませんので予めご了承ください。
- 本製品及び付属品は、改造自動車に適合するものではありません。改造自動車に装着する場合は法令で定められた改造申請などの届け出をして検査合格後にご使用ください。ただし、その自動車が損傷、損害がありましても、弊社は一切の責任を負いませんので、予めご了承ください。
- 本製品及び、付属品に改造を加え、指定車両以外の自動車に取り付けて発生する不具合、自動車の損傷、損害につきましては弊社は一切の責任を負いませんので、予めご了承ください。
- 本製品及び付属品は、改良のため予告無く変更する場合があります。
- 商品梱包を開封したと同時に上記に関してご同意されたものとみなしますので、開封前に必ずご確認下さい。

シンボルマークの意味　　本書では正しい取り扱いに関する重要な事項を下記のシンボルマークで表示しております。

⚠ 警告　この表示の意味を守らないと死亡、又は重傷に至る可能性が想定される場合を示しています。

⚠ 注意　この表示の意味を守らないと傷害、又は物的損害の発生が想定される場合を示しています。

⚠ 警告

- 本製品の取り付けには、重要な部品及び関連商品の脱着が伴います。必ず専門知識のある販売店もしくは整備工場で取り付けを行って下さい。
- 本製品を取り付ける際は、平坦で十分なスペースのある場所で、車両のエンジンを停止し必ず冷めてから車両を安定させて行って下さい。
- 取り付けにあたり、取り付け車両メーカー発行のサービスマニュアルを用意し、車両部品の脱着方法及び注意事項を良く理解して作業を行って下さい。

⚠ 注意

- 本製品に落下等の衝撃を与えないで下さい。商品に傷、へこみ等付きますと商品の取り付けが出来ないもしくは、商品の性能が発揮出来なくなる場合があります。
- 車両のエンジン、ラジエター等が熱い時は、完全に冷めてから作業を行って下さい。熱いまま作業を行いますと火傷の原因となります。

使用用途

本製品は、ＨＯＮＤＡ　ＣＴ１２５・ハンターカブへＲｏｔｏｐａＸ(ロトパックス)携行コンテナをマウントするためのプロトオリジナルのマウントステーキット製品です。また、同車輌用の汎用のサイドバッグホルダーとしてもご使用いただけます。
この目的以外には本製品を使用しないで下さい。
ＲｏｔｏｐａＸ(ロトパックス)携行コンテナをマウントする際は本品以外に標準パックマウント（ＰＲＸ－ＰＭ）、デラックスパックマウント（ＰＲＸ－ＤＬＸ－ＰＭ）、ロックスパックマウント（ＰＲＸ－ＬＯＸ－ＰＭ）のいずれかが必要となりますので別途お求め下さい。
汎用のサイドバッグホルダーとして使用する場合は本品のみで装着、ご使用いただけます。
なお、ＲｏｔｏｐａＸ(ロトパックス)エクステンション(ＰＲＸ－ＥＸＴ、ＰＲＸ－１．７５ＥＸＴ、ＰＲＸ－３ＥＸＴ等)を使用した取付は不可となりますのでおやめください。
■耐荷重：１０ｋｇまで
■推奨装着ＲｏｔｏｐａＸ(ロトパックス)携行コンテナ：
レッドコンテナ　１ガロン（ＰＲＸ－１Ｇ）、レッドコンテナ　１．７５ガロン（ＰＲＸ－１．７５Ｇ）、ホワイトコンテナ　１ガロン（ＰＲＸ－１Ｗ）、ホワイトコンテナ　１．７５ガロン（ＰＲＸ－１．７５Ｗ）

製品特徴

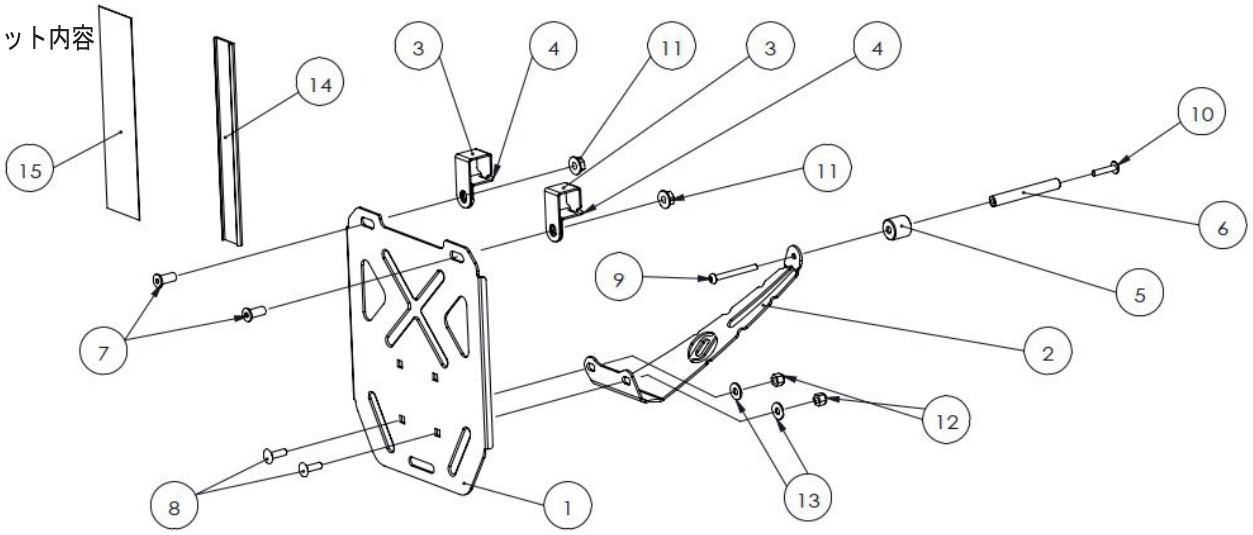
アメリカで人気を博しているクルマやバイク、ＡＴＶなどに搭載可能な携行コンテナ　ＲｏｔｏｐａＸ（ロトパックス）をＨＯＮＤＡ　ＣＴ１２５・ハンターカブ　２０のリヤキャリアのサイドに固定可能な車種別専用ボルトオンのＰＬＯＴオリジナルのサイドマウントキットです。
ＲｏｔｏｐａＸ携行コンテナでは主に水等を運搬するのに適した作りとなっておりますのでＣＴ１２５・ハンターカブでツーリングキャンプや釣り等のアウトドアレジャーを楽しむ際にリヤキャリアの上部のスペースを使用することなくサイド部分に携行コンテナを装着し運搬が可能な事から車輌の積載スペースを効率良く活用することが可能です。
サイドマウントキットはアウトドアの不整地で使用される事を想定した設計となっており、不安定な不整地ゆえでの万が一のアクシデント、転倒などの時にサイドマウントにダメージが及んだ際に取付した車輌側の部位にダメージが行きづらい設計、サイドマウントキット側のステーが衝撃を吸収して変形することで車体側にダメージが行きづらくなるような構造に設計しております。

仕様

素材：スチール、ステンレス、ラバー、塩ビ



キット内容



Ｎｏ	品名	個数	備考	指定締付トルク
①	ベースブラケット サイドマウント	1		
②	サブマウント サイドマウント	1		
③	クランプA サイドマウント	2		
④	クランプB サイドマウント	2		
⑤	カラー ６．５X２０X２０ スチール	1		
⑥	サポートバー サイドマウント	1		
⑦	極薄ＮＣローヘッド Ｍ８	2		
⑧	角根丸頭ボルト Ｍ６X２０	2	*ＲｏｔｏｐａＸ製パックマウント付属ボルトセットを使用する際は使用しません。	
⑨	六角穴付きボタンボルトＭ５ＸＬ５０	1		６．０ Ｎ・ｍ
⑩	フランジ付きボタンボルトＭ５Ｘ２５	1		６．０ Ｎ・ｍ
⑪	皿ばねナット Ｍ８	2		２０．０ Ｎ・ｍ
⑫	ナイロンナット Ｍ６ ＳＵＳ	2	*ＲｏｔｏｐａＸ製パックマウント付属ボルトセットを使用する際は使用しません。	１２．０ Ｎ・ｍ
⑬	丸ワッシャー Ｍ６X１６X１．５	2	*ＲｏｔｏｐａＸ製パックマウント付属ボルトセットを使用する際は使用しません。	
⑭	帯ゴム（１ｃｍ）２０ｃｍ	1	カットしてご使用下さい。	
⑮	保護シート（強粘着 塩ビ 透明シート）２００ＭＭ Ｘ ５０ＭＭ	1	カットしてご使用下さい。	

取付方法

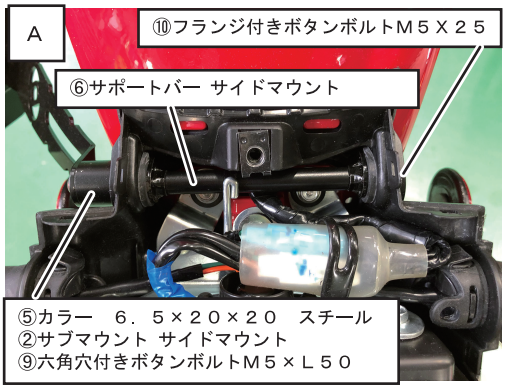
１．ラギジキャリヤー（キャリヤー，ラギジ）を車体から取り外します。
※ラギジキャリヤー（キャリヤー，ラギジ）の取り外し手順は
サービスマニュアルを参照してください。

２．テールライトのカバー，テールライトアッパーを取り外します。
※上部ボルト取外しのみでカバー、テールライトアッパーの
取外しが可能ですが爪で装着されておりますので取外しの際、
爪を折らないようにご注意ください。
テールライトの左右に装着されている純正ボルト
スクリュー，パン ６Ｘ８を取り外します。

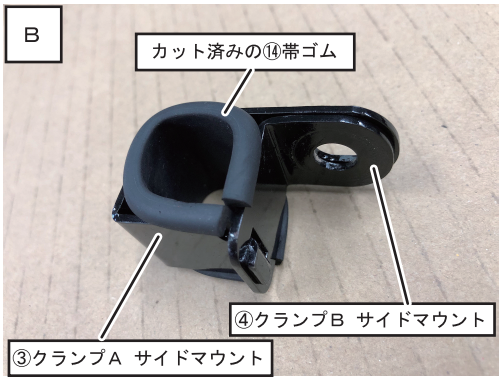
３．テールライト内部の右記Ａの画像の箇所に「⑥サポートバー
サイドマウント」を装着し、
右側に「⑩フランジ付きボタンボルト Ｍ５Ｘ２５」を締めこみ固定して、
左側に「⑤カラー ６．５Ｘ２０Ｘ２０ スチール」
「②サブマウント サイドマウント」
「⑨六角穴付きボタンボルトＭ５ＸＬ５０」を仮止めします。

４．２の工程で取り外したカバー、テールライトアッパーを装着し元に戻します。
１の工程で車体から取り外したラギジキャリヤー（キャリヤー，ラギジ）を
車体に装着し元に戻します。

５．ラギジキャリヤーの上部に取り付けるクランプを準備します。
「⑭帯ゴム（１ｃｍ） ２０ｃｍ」をハサミ等でカットし、２分割します。
右のＢ画像のように「③クランプＡ サイドマウント」
「④クランプＢ サイドマウント」を「⑭帯ゴム（１ｃｍ） ２０ｃｍ」を
組合せて仮組のクランプを２組用意します。



※上記画像の⑥サポートバー サイドマウントは試作品の為、
色が黒となります。
製品版は白シルバーの色となります。



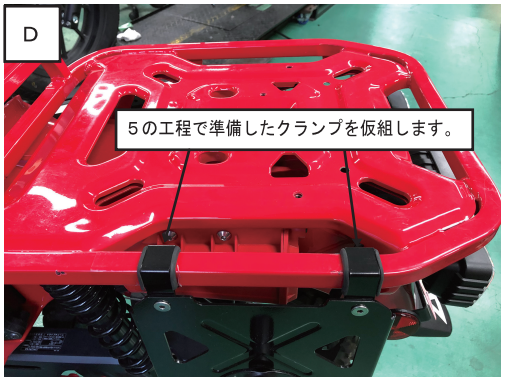
6．「①ベースブラケット　サイドマウント」を３の工程で仮組した
「②サブマウント　サイドマウント」に仮組をします。
（仮組の際⑧⑫⑬のボルト、ワッシャー、ナットを使用します。）
「①ベースブラケット　サイドマウント」へ、５の工程で用意した
クランプと仮組を行い、ラギジキャリヤー（キャリヤー，ラギジ）の
固定位置を見定めます。
クランプの固定位置を見定めたのち「⑮保護シート（強粘着塩ビ透明シート）
２００ＭＭｘ５０ＭＭ」をハサミ等でカットしてラギジキャリヤー
（キャリヤー，ラギジ）とクランプの接触面に貼付します。
（接触面の保護のためのシートとなります。画像Ｃ参照）

C



7．ラギジキャリヤー（キャリヤー，ラギジ）へ５の工程で用意したクランプを
⑦⑪のボルトナットを使用して「①ベースブラケット サイドマウント」
とラギジキャリヤー（キャリヤー，ラギジ）仮組します。画像Ｄ参照

D



8．汎用サイドバッグホルダーとして使用する際は「①ベースブラケット
サイドマウント」と「②サブマウント　サイドマウント」を⑧⑫⑬の
ボルト、ワッシャー、ナットで組付け、前工程までの仮組だったボルト、
ナット全てを均等に各部の位置を調整しながら指定の締付トルクで
締付けして完成です。画像Ｅ参照
（汎用サイドバッグホルダーとして使用する際は「①ベースブラケット
サイドマウント」の上部の穴は使用しません。）

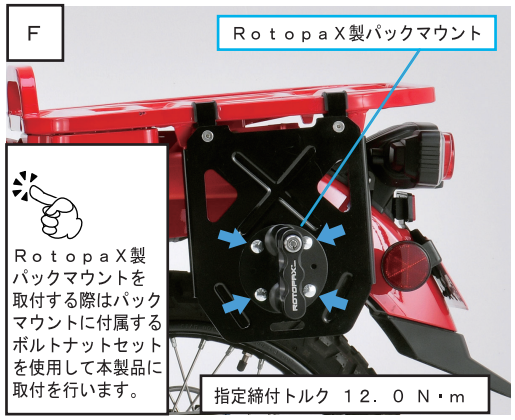
E



9．ＲｏｔｏｐａＸ（ロトパックス）携行コンテナをマウントする仕様として
使用する際は、ＲｏｔｏｐａＸ（ロトパックス）製パックマウントに
付属するボルトナットセットを使用してＲｏｔｏｐａＸ（ロトパックス）製
パックマウントを「①ベースブラケット　サイドマウント」に固定します。
前工程までの仮組みだったボルト、ナット全てを均等に各部の位置を
調整しながら指定の締付トルクで締付して完成です。
（ＲｏｔｏｐａＸ（ロトパックス）製パックマウントを使用する場合は、
本製品に付属する⑧⑫⑬のボルト、ナット、ワッシャーは使用しません。）
画像Ｆ参照



F



22/3/7

この度は当社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。製品には万全を期していますが、万一不良などございましたらお手数をお掛け致しますが、弊社までご連絡頂きますよう宜しくお願い申し上げます。また製品に関するご不明な点や御質問等がございましたらお気軽に当社までお問い合わせ下さい。

株式会社プロト　〒448-0001　愛知県刈谷市井ヶ谷町桜島5
TEL 0566-36-0456（代）　HP　https//www.plotonline.com/
FAX 0566-36-0515　e-mail　info@e-plot.co.jp